

あかるさかおるの スケッチブック

No.16

バックナンバーは、町ホームページで
まとめて読むことができます▶



“「何になりたい？」より「何をしたい？」”

娘の影響で、最近は Mrs. GREEN APPLE の曲をよく聴いています。ポップなメロディーに哲学的な深い歌詞、曲ごとに違う景色を見せる構成員。物語のようなライブ演出にも驚かされます。紅白歌合戦にも出場し、「青と夏」「僕のこと」などのヒット曲で大きな支持を集める彼らは、ただの“人気バンド”という枠には収まりません。

ヴォーカルの大森さんが、あるインタビューで「ミセスって、バンドなの？何なの？と言われるのは褒め言葉だ」と語っていたのを聞いたとき、「これだ」と腑に落ちました。彼らは「有名バンドになりたい」のではなく、「自分たちの世界を届けたい」「もっと伝わる形で表現したい」のです。その思いと、形に縛られない自由さが、多くの人を魅了するのではないのでしょうか。

この姿勢は、子どもたちの「夢」の話にもつながるように思います。「今の子には夢がない」と言われがちですが、それは大人が「将来何になりたい？」

と、“名詞”で問いかけてしまうからかもしれません。「何になりたい？」と聞かれた子は、自分が今知っている限られた職業の中から、いちばんそれっぽいものを選ぶしかない。でも、この変化の激しい時代において、今ある職業が将来もあるとは限りません。むしろ、今は存在しない新しい仕事や働き方が、これから次々と生まれてくるでしょう。

ある先生が言っていました。「名詞ではなく、動詞で聞こう」と。「何をしたいの？」と問いかければ、そこから立ち上がってくる思いこそが、本当の夢になる。その問いの積み重ねが、「自分はどうか生きたいのか」という人生そのものへとつながっていくのではないのでしょうか。

【このコラムを書いている人】



すがわら さやか
菅原 明香(あかるさかおる)

アライアンス
ナリワイ ALLIANCE 代表

通訳ガイドやアート活動、コミュニティづくりなどを行う複業アーティスト。三川町在住、2児の母。

